

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年9月20日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4672400068
法人名	株式会社 九州保健医療
事業所名	グループホームおおうら
所在地	南さつま市大浦町8232 (電話) 0993-58-5102
自己評価作成日	令和2年8月20日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和2年9月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

広い敷地を活用し、散歩へ出かけたり、畑や実のなる木を利用者様と一緒に収穫や手入れをすることで、季節を感じていただいています。それぞれのペースを大切にしながら、自立支援を中心にできることはしてしながら支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

管理者や職員は、ホームの理念や職員で作成した介護理念の意義を振り返りながら、利用者の思いや意向、また日常の変化などについて把握し、利用者及び家族とのきめ細かな対話を重視し、可能なことはすぐにでもサービスに反映させようとする強い意志を感じ取れる。常により良い支援を実現することに視点を当てた柔軟な取り組みが利用者や家族にとって安心につながっている。

管理者自身も職員への日常の声かけの工夫のほか、計画的な研修の充実も図り、職員とよく話し合いながら業務改善を進め、利用者への声かけや丁寧な対応を心掛けて、利用者が「ゆったりと楽しく、生きがいを持って穏やかに過ごせるか」を大切にされた職場環境づくりに努めている。

管理者や職員は、利用者の食事への楽しみも充実させるために細かな配慮をしている。差し入れや菜園の野菜も含めて旬の食材を活用し、個々に合わせた食事量やバランスに配慮し、とろみやきざみ食等も取り入れ、また、利用者のできることも一緒に行っている。それぞれの季節に応じた行事食や庭での弁当、誕生会等の特別食や家族との外食なども計画して利用者の楽しみにつなげている。

年2回は地域の消防署の協力を得ながら通報・消火・避難訓練を実施し、訓練実施後は消防署員に対して不明な点や疑問点などを質問し、それらを基に反省点並びにより効果的な対応を協議・整理して体制整備に努めている。また、近隣の方々にも災害時の協力をお願いして協働関係も築き防災への意識は非常に高い。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎日の朝礼の後に運営理念と介護理念を復唱し業務に活かすように心掛けている。	ホームの理念及び介護理念に沿って、地域の中で利用者が個々のペースでその人らしくゆっくりのびのびと過ごせるように日々のケアに取り組んでいる。パンフレットへの記載や掲示、朝礼での唱和により理念の共有を図っている。職員は理念と日々のケアと比較した自己評価も行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	行事等に地域の方々も参加の声掛けしている。今年度は、感染予防により、交流の場を設けることや外出が出来ず、日常的な交流はできていない	現況は感染症予防で交流は中断しているが、地域の祭りや運動会の見物、保育園との交流のほか、近所の方より野菜の差し入れもあるなど親しく交流している。ボランティアや実習生受け入れをはじめ、認知症カフェやキャラバンメイトの活動などで認知症の理解促進にも努めている。ホームの敬老会や夕涼み会の案内も行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	認知症カフェ等を開催して、認知症の方やその家族の理解、支援に努めている。今年度は、感染症予防の観点から、機会はほとんどない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議でホームでの取り組みや状況を報告しており、参加者からの意見を参考にしている	感染症予防のため現在は文書配布による会議であるが、利用者や家族、地域住民、行政や警察・消防署・保育園の職員、協力病院の事務長等が参加して定期的に開催されている。ホームや利用者の現況や行事・事故等の活動報告のほか、意見や情報交換が行われ、得られた委員からの助言や提案を職員が共有して、提供するサービス向上や業務の改善に役立っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の担当者とは、日頃から連携はとれており、事業所での取り組みなど伝えながら相談している	主に電話やメールにより、市担当者とは各種の手続きや確認等の際に、ホームの活動やケアサービスの状況、また、利用者の暮らしぶりやニーズなども伝え、助言や対応をしてもらいケアに役立てている。案内される研修会やグループホーム協議会等でも意見や情報の交換を行っている。社協職員との交流もある。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアの研修を定期的に行っており、身体拘束廃止委員会も行っている。玄関の施錠をせず、外に行きたい時には出られるように見守りを行い拘束しないケアに取り組んでいる。	言葉による拘束も含めた身体拘束や高齢者虐待等の勉強会や身体拘束廃止委員会を通じて職員の正しい理解を深めケアへの反映を図っている。職員は利用者個々の状況把握に努めると共に、報道なども参考に具体的な事例にも基づいて必要な対応を日々のケアやカンファレンス、また、不適切ケアチェック表で繰り返し確認している。居室や玄関等の施錠は原則として行わず、利用者が外出しそうな場合は、職員が連携して見守りや声かけを行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待についての研修会を行い、よく理解し気を付け虐待が見過ごされることがないように防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する制度についての研修会で職員が学ぶ機会を設け、制度の利用が必要な方には提案してそれらを活用できるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、きちんと説明し不明な点などないか尋ね、理解していただいている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族からは面会時や普段の会話などから要望や意見を尋ねたり、運営推進会議を通して聞く機会を設けている。利用者様からは普段の会話から聞くようにして職員間での情報共有し、反映している。	契約時から丁寧な説明を心掛け利用者や家族と信頼関係を築くように接し、入所後は利用者の気持ちに寄り添いながら思いの把握に努めている。家族とは現在面会制限中で電話が主であるが、従来は来所時、運営推進会議、行事の際などに話しやすい雰囲気作りを工夫して多くの意見を得ている。日々の申し送りや職員会議、カンファレンス等で全職員が共有して対応を話し合い、お便りも含めて家族にも報告し、サービスに具体的に反映できるように努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンスや職員会議、普段からも意見や提案を聞く機会を設け検討し、反映させている。	管理者自身が日常的に話しやすい雰囲気作りを努め、日々の業務中ではもとより、毎月の職員会議及びカンファレンス、必要時の個別面談、2か月1回の全体研修等で職員の意見や提案を聞き取り、助言もしながら業務改善やサービス向上、働きやすい職場づくり等につなげている。また、忘年会や食事も実施して親睦を図っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	働きやすい職場作りができるよう、勤務時間など要望を聞き入れながら、向上心を持って働けるように努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修を受けやすい様に勤務調整や、力量を把握し必要な研修があれば声をかけるなどしている。施設内研修も定期的に行っており向上できるようにしている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会等同業者との交流に参加しており、研修会の参加を通して質の向上に活かしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居時は特に、不安も大きいので話を傾聴しながら、要望に寄り添い安心していただくよう散歩に誘ったりして信頼関係を築くように努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居される前や、入居されてからも不安な事など家族の話聞き要望などないか話を聞くようにしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人にとって何が必要であるかを見極め家族や主治医とも連携とりながら他科受診するなどしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>食事や洗濯など日常生活において一緒に生活をする者同士として支え合いながら、又利用者様に知恵など教えて頂きながら関係を築いている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族へ3カ月に一回の近況報告を郵送している。現在は感染症予防で面会ができないが、電話でのやりとりなどで報告や情報収集し、共に支えている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会や外出などで関係が途切れないよう支援していましたが、現在は、感染症予防でできない為、窓越し面会や電話、オンライン面会を取り入れている	現状は感染症予防で面会や外出支援は中断しているが、家族との窓越しの面会やオンライン面会、電話での会話などに配慮している。従来は知人や友人の来訪時の支援のほか、本人が希望する商店や美容室・墓参り・一時帰宅等を家族と共に支援している。利用者個々の趣味、食事や洗濯等のできる範囲の家事なども支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	仲の良い方同志でゆっくり話できる空間づくりをしたり、レクリエーションなどを通じて孤立せず関わり合えるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても、いつでも相談していただけるよう声をかけており、相談や支援できるようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりに合わせた生活をしていただくために生活歴などを元に色々と話を聞き、思いをくみ取るようにしている。	職員は日頃の関わりや家族の情報から思いや意向を丁寧に聞き取り、思いに寄り添えるように努めている。その時々利用者の心身状況も職員が共有し、家族とも話し合いながら個々に合わせて柔軟に対応できるよう取り組み、家族にも電話やお便りで近況報告も行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の情報や会話の中で今までの暮らしの把握に努め、情報共有している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	支援経過記録やカンファレンスを行い、一人ひとりの現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回カンファレンスを行い、職員間での情報共有に努め、現状に即した介護が出来るように介護計画にも反映している	利用者や家族の思いや意見、特に「本人のやりたいこと」を聞き、また、主治医や看護師など関係者とも話し合い、職員の意見も反映した介護計画を作成している。日々の様子や変化などは申し送りノートや業務日誌、支援経過記録に職員の気づきや工夫も交えて正確に記述している。内容は申し送り等で共有し、モニタリングやカンファレンスで心身の状況に合わせた、また、生きがいにもつながるような支援方法を話し合い、見直しや修正を適切に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	支援経過記録に日々気づいたこと、出来事を記入し、出勤時に職員が確認し、申し送りで情報を共有し実践や介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様、一人ひとりのニーズに合わせて、他科受診の介助など行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティアの方が訪問に来て演奏してくださることもある。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に家族に説明しかかりつけ医での受診が受けられるようにし、必要に応じて他科受診している	従来のかかりつけ医院が閉院し、新規の協力医療機関との連携が始まったばかりだが、かかりつけ医との話し合いや情報交換、家族との十分な連携に努めている。薬剤師や協力医療機関の看護師とも連携して健康管理に努め、協力医療機関とはオンコール体制があって緊急時にも適切な医療が受けられる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	何かある時はその都度かかりつけ医に相談しており、利用者の方々が適切な受診や看護を受けられるように支援している。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	入院時は入院先の病院の相談員等と連携を取り、情報交換を行っている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	入居時に説明をしており、重度化した場合などの同意を得ている。状況に合わせて家族等に相談しながら方針を共有している。	重度化や終末期のケアについては、文書化した指針で契約時に利用者と家族に十分に説明を行い同意を得ている。協力医療機関は新しくなったばかりであるが、ホームとしてはこれまで通り、利用者の段階及び本人や家族の思いの変化などに応じて、職員やかかりつけ医、看護師、家族と十分な話し合いを行い、病院や特別養護老人ホームなどへの移動も含めて、ホームとして適切な支援が提供できるように、体制の整備に努めている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	急変や事故発生時に備えて応急処置や初期対応がスムーズに行えるように職員研修の中で学んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>緊急マニュアルを作成し、消防署の方々に来ていただき、避難方法などについても避難訓練を行っている</p>	<p>火災や地震を想定し、年2回消防署の協力を得ながら夜間想定も含む避難・消火・通報訓練を行っている。地域住民との協力体制もできている。スプリンクラーや自動通報装置、自家発電を始めとする消火設備は整備され、頭巾や食料・水等の備蓄、緊急マニュアルや災害時の非常時持ち出し品リストの作成もなされている。防火管理者による定期的な環境・設備等の自主点検も行われている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	研修会などで、言葉使いやプライバシーについて学んでおり、言葉かけや対応に気を付けて、職員同士で気づいたら声をかけあう様になっている	入浴や排泄、食事の支援などの日常のケアに際しては、職員が相互に確認しながら、特に個々の状況に応じた言葉遣いや声かけを工夫し、利用者の不安や羞恥心にも配慮しながら接している。接遇やプライバシー保護等の研修も実施し、見守りや個人記録の取り扱いにも十分配慮して、利用者の人格や感性を大切に支援に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	トイレや入浴など声かけしながら、本人の意思を確認し、衣類を選んでいただいている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースに合わせており、行動された時は見守り行ったり、ドライブや散歩など希望に沿って支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入浴前など服を自分で選べるように利用者様に合わせて支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の下ごしらえや盛り付け等職員と一緒にいき、茶碗洗いや台拭きなども声かけしている	差し入れや菜園の野菜も含めて旬の食材を活用し、個々に合わせた食事量やバランスに配慮し、とろみやきざみ食等の工夫も行っている。盛り付けや食卓の準備・後片づけ等利用者のできることも一緒に行っている。季節の行事食や庭の花見での弁当、誕生会等の特別食や家族との外食なども計画して利用者の楽しみにつなげている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量をチェックし、食事も一人ひとり食べやすいようにして形態を合わせている。水分量や食事量少ない時は代替えするなど工夫している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、声かけし口腔ケアできるように個々に合わせて支援を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間や利用者様の行動など見ながら声掛けしトイレでの排泄できるようにトイレ誘導をしている。	日々の暮らしの中で、職員は連携して利用者の見守りや排泄チェック表を活用しながら個々のペースを把握して、タイミングのよい声かけに努め可能な限りトイレに誘導している。リハビリパンツやパット・ポータブルトイレの使用など、個々に合わせた工夫をプランにも組み込み、言葉使いをはじめ本人の誇りやプライバシーを損ねないように丁寧な対応に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	普段より、水分補給やバランスを考えた食事、歩行訓練など毎日行っており、自然排便を促している。排便チェックをし、主治医の指示の下、必要な方は薬を調整している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴が好きな方は、希望に合わせて入浴ができるように支援している	毎日でも入浴は可能である。入浴したい日や時間帯などの希望に沿って、また、利用者の健康状態や安全面に十分配慮してゆったりと会話しながら入浴が楽しめるよう、気持ちよく入ってもらえるよう柔軟に支援している。入浴をためらう場合には、職員の交替や時間帯も変更するなど利用者本位の支援を心掛けている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様のペースで和室で休まれたり、夜も不安な時には電気をつけたりと安心できるようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師の指示の下で服薬され、変更があったら申し送りで伝えている。副作用など症状の変化があったら主治医に報告している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の好みに合わせた楽しみや役割を持って生活できるように情報共有し、支援に取り組んでいる		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	園内を散歩したり、ドライブに行き景色を見たり季節を感じられるようにしている。	家族からの情報も含め個々の利用者の思いは日常会話からもくみ取り、広い園内の散歩、敷地内の果樹を眺めながらの外気浴、近隣のドライブなどに行っている。現在は感染症予防で中断しているが、従来は家族の協力も得ながら、季節を感じてもらえるように季節の花見やドライブ、地域の行事や保育園児との交流など、楽しく外出できるように工夫・支援している。家族との墓参りや帰宅、外食も勧めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の管理はご家族で管理され、所持されている方はおられない。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>自ら電話されることはないが、家族から電話がきたりする時に繋いで会話されたりしている</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有空間に季節感を感じて頂けるように壁飾りや作品を利用者様と作成し飾っている。 又、太陽の光で不快を感じる方もおり、気持ちよく過ごせるように配慮している</p>	<p>栗や柿の果樹もある敷地は広く散策や日光浴に適し、庭や玄関先にはベンチが置かれて会話も楽しむことができる。リビングや廊下は明るく、室温や湿度、換気調節、清潔感にも十分に配慮されている。畳のスペースやソファ・椅子が配置され、利用者それぞれが好みの場所でくつろげるようになっている。玄関には季節の花が飾られ、壁には季節感のある手作りの作品や行事の写真等も掲示されている。静かな音楽も流れて気持ちよく過ごすことができる。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>和室でゆったり座ってテレビを観たり、レクリエーションを行ったり、また気の合った方と部屋や和室で話をされている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は日常使い慣れたものや、好みの物を置いたり飾ったり心地よく過ごせるように工夫している。</p>	<p>利用者の馴染みの小物や雑貨、家具、寝具、家族の写真などが置かれ、家族とも協力しながら穏やかな気持ちで過ごせるよう工夫されている。ホームからはエアコンやベッド、大きなクローゼットが備え付けられており、ベッドの高さをはじめ安全に動けるよう、また、利用者が好むレイアウトになるよう職員が配慮に努めている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレやお風呂など表示し自立した生活が送れるようにしている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
		○	3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない